

2021 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名__NPO法人くにたち農園の会 森のようちえん谷保のそらっこ__

代表者・役職名 氏名 理事長 小野淳

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

森のようちえん 谷保のそらっこ～ほしっこひろば～

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

子ども・大人含め「心の豊かさ」を実感できる場を作りたいと思い活動を始めました。四季折々の自然の中で遊びを通し、自然を相手に遊びを発展していく力は、想像力・自主性・考える力を身につけていく場であると考えています。個人の発達に合った遊びの展開ができる環境を作り、個々の存在を大切に、他者とのつながりを意識し、互いに刺激し合いながら安心して育て合える場を提供していきます。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

現代の子育ては地域との繋がりが薄くなり、孤立する親子が増えてきています。また、子どもたちの経験不足も目立ってきており、自発的に遊びを見つけ発展していく力が弱まってきていると感じています。乳幼児期に様々な体験、経験を通し、情緒の豊かさ、自主性、生きる力の土台作りを行うため、「今ある子どもの姿」を感じ取り、思う存分自分のやりたいことを追求し、遊びに没頭できる場を提供することを目的としています。また、未就園児の親子を対象にした共に育ち合える場、地域との繋がりを持てる場の提供をしていきます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

①保育士資格所有のスタッフが参加者親子と様々な遊びと活動を展開します。

地域の自然を生かし、四季を感じながら情緒の育ちを支えます。自然物を使って固定概念にとらわれない発想力・想像力を身につけさせます。自然とのふれあいの中で、親と子が心をかよわせ、親子関係を軸とし、他社への関心を深めます。

②専門講師が参加者親子と音楽あそびを行います。

③集会所で感触遊びや手指を使った遊びを行います。

成長発達に合った素材や教材を使い、身体の発達、思考の発達を促していきます。絵具で塗りたい遊び、どろんこ遊び、寒天や小麦粉粘土などを通し、感覚を使って感触を楽しみます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

結果:年間38回開催。会員47組。

成果:コロナ禍の中、野外での子育て支援の場を提供したことで、親子の居場所作りを行いました。公共施設の子育て支援が中止または予約制となったことで行き場のなくなった親子が参加し、活動以外の日も外で遊ぶきっかけ作りを行うことができました。

効果:この活動を行ったことで親子の孤立化を防ぐことができました。ソーシャルディスタンスを保ちながらも気持ちは密に、人との繋がりコミュニケーションの場作りを行うことができました。野外で活動することで身近にある自然を再発見し、日常の大切さに目を向ける機会が増えました。また、年間を通して会員制にしたことによって子ども同士の関係作り、仲間作りを行うことができました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

課題としては、定員を超えた申し込み者を受け入れていくためのスタッフの確保と with コロナ対応です。スタッフに関しては財源確保も必要になってきますので併せて検討して参ります。課題のあるお子さんも受け入れていきたいです。今後の展望としては、他のひろばと連携して横のつながりだけではなく、縦のつながりを意識したひろば作りを行っていきます。国立市は保育所の一時預かり定員が少なく、なかなか利用できませんので親子での活動の他に子どものみの活動日を設け一時預かりを行っていきます。With コロナは今後も続いていきますので、外遊びでの子育てひろばの輪が広がるよう、今後も継続して活動をしていきます。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

